

授業概要

平面や立体を中心とした様々な制作を学生が実際に行うことで、作る楽しさを学生自らが実感することを通して、子どもの作る姿への共感力と、子どもの造形活動の指導力を高めることを目指す。

- ・材料や道具の基本的な使い方、幼児が安全に楽しめる使い方、保育で応用可能な使い方などを学ぶ。
- ・平面と立体の制作を行い、実際に自分で作品を作り上げることを通して、材料や道具の使い方を身につけ、制作能力を高めるとともに、制作の楽しさについて実感的に理解する。
- ・実際の保育の現場を想定して、共同制作を行う。他者と共同して制作することを通して、実践に役立つ現場力を養う。

これらの学びを通して、保育・教育者として、制作のスキルを活用した指導のあり方を考えるよう指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	造形活動の基本（1）材料と用具の知識と安全性
第 3 回	造形活動の基本（2）制作環境の準備と安全性
第 4 回	平面制作(1) 様々な紙と描画材
第 5 回	平面制作(2) いろいろな版画（ステンシル、野菜、シャボン玉）
第 6 回	平面制作(3) 体験を描く
第 7 回	平面制作(4) 身体で描く
第 8 回	立体制作(1) 様々な紙と接着剤
第 9 回	立体制作(2) いろいろな形（丸めて、重ねて）
第 10 回	立体制作(3) 材料の組み合わせ「動物作り」1
第 11 回	立体制作(4) 材料の組み合わせ「動物作り」2
第 12 回	造形あそび（1） 共同制作 「お店作り」
第 13 回	造形あそび（2） 共同制作 「お店のグッズ作り」
第 14 回	造形あそび（3） 共同制作 「お店の飾りと遊びへの応用」
第 15 回	完成作品の扱い 作品展示
第 16 回	課題のまとめ 振り返りと発表会

到達目標

- ・保育・教育者としての造形活動を支援、指導する為の知識や基礎となる技能を習得する。
- ・子どもの造形表現・描画における発達段階を理解し、造形活動を展開することができる。
- ・制作における基礎的な知識や技能を応用して、作品制作ができる。
- ・他者と共同して制作を行い、活動を楽しむことができる。

履修上の注意

造形活動で用いられる様々な材料・用具(絵の具・画用紙・糊等)の準備をする。

予習・復習

子どもの制作や作品を理解するためには、学生自身が制作を行うことで、感性を豊かにし、制作の楽しさを味わうことが大切です。日頃から身近な材料で制作し、美術館などの展覧会にも積極的に足を運ぶことが期待される。

評価方法

制作準備・環境設定 30%、課題作品 30%、アートジャーナル 20%、学習態度・協調性 20%

テキスト

- ・教科書名：ちびっこアーティストを育てる お絵かきあそび
 - ・著者名：アトリエ・リュミール 鈴木あきこ
 - ・出版社名：主婦の友社
 - ・出版年（ISBN）：978-4-07-256290-1
- 資料プリントを適宜配布する。